

経営健全化方針に基づく取組状況（令和2年度）

○法人名 有限会社 板馬養殖センター

○経営健全化方針を策定した理由

南城市・知念漁業協同組合・有限会社 日建商事の三者が出資し、令和元年度決算で146,914千円の債務超過に陥っているため。

○財政的リスクの状況

	令和1年度（第39期） 決算	令和2年度（第40期） 決算
債務超過額（千円）	120,414	126,917

○主な取組状況

<p>【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】</p> <p>1. 新たに自販機を設置することで対面販売における新型コロナの感染リスクを排除するとともに、冷凍車海老の売り上げ増加や宣伝広告につながっている。</p> <p>2. ものづくり補助金で急速凍結機の設備を導入、活ベ冷凍車海老で売り上げを伸ばす。</p>
<p>【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】</p> <p>令和2年度に債務解消を目的に板馬養殖センター経営健全化方針を策定、経営健全化方針に基づき債務解消への取り組みが行われているか確認した。</p> <p>また、板馬養殖センターの債務解消には漏水している養殖池の改修工事不可欠なため、令和2年10月13日に沖縄県に対して養殖池の漏水調査と改修工事の要請を行った。</p> <p>今後も板馬養殖センターと連携し債務解消へ向け取り組んでいく。</p>

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（千円）

	令和1年度	令和2年度
資産総額	50,673	37,785
（うち現金預金）	34,898	16,406
（うち売上債権）	1,800	4,882
（うち棚卸資産）	4,759	6,822
負債総額	171,087	164,702
（うち南城市からの借入金）	14,000	0
純資産総額	△ 120,414	△ 126,917

(損益計算書から)

(千円)

	令和1年度	令和2年度
経常収益	40,079	38,527
経常費用	52,483	54,042
経常損益	△ 12,404	△ 15,515
経常外損益	5,513	9,192
法人税	180	180
当期純損益	△ 7,070	△ 6,503